

令和7年度 企画政策部 施策展開方針 計画書

1 まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 5 都市生活	政策展開の方向性						
	計画的な市街地整備による機能的な都市づくりを進めていくほか、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実を図るとともに、デジタル技術などの活用による市民サービスの利便性や、行政事務の生産性の向上に取り組むことで、全ての市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。						
	令和7年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	5－（１）市街地整備の推進						
	・江別駅周辺の活性化に向け、庁内横断的に組織した連携会議で検討を進めるとともに、旧江別小学校跡地の活用について、商業機能誘導などの検討を進めていきます。 ・都市計画マスタープランに基づき、「駅周辺を拠点とする集約型都市づくり」「江別の優位性を生かした経済の発展」「災害に屈しない強靱な都市づくり」「江別らしさを生かした住みよい都市づくり」「自然豊かで環境にやさしい都市づくり」を都市づくりの基本目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めます。また、目標の実現に向け、関係機関等と協議調整を進めるとともに、各関連個別計画を推進します。 ・江別市の魅力を地域おこし協力隊などと連携しながら効果的に発信することで、子育て世代を中心とした移住や、さまざまな世代の定住に繋がる取組を進めます。						
	5－（２）暮らしを支える交通環境の充実						
	・地域公共交通計画に基づく持続可能な地域公共交通網の形成を目指し、地域公共交通活性化協議会において協議や検討を行い、路線バスの利用促進や維持確保支援、市郊外部での移動手段の確保など各種事業を推進します。						
	5－（３）暮らしを豊かにする技術の活用						
	・江別市DX(デジタルトランスフォーメーション)推進方針に基づき、地域社会のデジタル化及び行政手続のオンライン化のほか、情報システムの標準化・共通化、AI 技術の活用などに取り組めます。また、DX推進の環境整備として、情報セキュリティ対策の徹底やデジタルデバйд対策なども進めます。						
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標
市街地整備に満足している市民割合(都市機能、公園、上下水道)	%	80.0					↗
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	59.0					↗
デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	19.4					↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数	件	81					↗
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	420					↗
システムを使用する課等の数	課	38					↗

政策
6

子
育
て
・
教
育

政策展開の方向性							
安心して子どもを産み育てられるよう、子どもが健やかに育つ環境づくりと、仕事と子育てを両立できる子育て世代にやさしいまちを目指します。 また、子どもの権利を尊重しながら、地域全体で子育てを温かく見守るまちづくりを進めます。 教育では、学校などでの様々な学びが、子どもたちの「生きる力」となり、今後、社会が変化し先行きが見通せない時代となっても、自分で課題を見つけ、学び、考え、判断、行動して、それぞれが思い描く夢を実現していく資質や能力が身に付くよう、地域とも連携して子どもたちを育みます。							
令和7年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）							
6－（2）子どもの教育の充実							
・市外在住者から市内4大学への寄附（ふるさと納税）を原資として、各大学に補助金を交付することで、大学が実施する良好な教育環境の整備を支援します。							
政策の成果指標		単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
江別市は、教育施策に力を入れているまちだと思う市民割合		%	43.0				↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「市内大学教育助成事業」 補助申請事業件数		件	4				↗

政策
8

協働・共生

政策展開の方向性							
江別市自治基本条例で掲げる市民自治の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、NPO、ボランティア・市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携し、魅力ある協働のまちづくりに取り組み、多様な主体が ありのままに暮らせる共生のまちを目指します。 また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を行うほか、国際交流を推進するとともに、在住外国人にとっても住 み良いまちを目指します。							
令和7年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）							
8－（１）協働のまちづくりの推進							
・市内4大学が江別市の知的資源、財産であることを踏まえ、大学教員によるまちづくりや地域活性化に関する調査研究 及び学生団体が行う地域活動の成果を広く発信し、地域と大学による協働のまちづくりを進めます。 ・若い世代の大都市圏流出が課題となる中、市内4大学の学生が地域イベントやボランティア活動、地域企業のインター ンシップへ参画するためのコーディネートを行うことで、卒業後の地域定着や将来的な関係人口の創出を図ります。							
8－（２）共生社会の形成							
・江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、年齢や障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられ る「共生のまち」を目指し、地域や大学等と連携した取組を進めていきます。							
政策の成果指標		単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
共生のまちづくりが進んでいると思う市民割合		%	47.0				↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業申請件数		件	9				↗
「生涯活躍のまち推進事業」 拠点地域を訪れた人数		人	100,764				→

政策 9 計 画 推 進	政策展開の方向性						
	効率的で効果的な行政サービスの執行と健全な財政運営に努めるとともに、時代の変化と地域課題に応じた市政運営を推進します。 また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、様々な媒体を通じて広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。						
	令和7年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	9－（１） 自主・自立の市政運営の推進						
	・「江別市行政改革大綱」に基づき、社会情勢や時代の変化に応じた行政運営手法を構築します。また、大綱に掲げる基本目標の実現のため、「江別市行政改革推進計画」を推進し、計画に掲げる行政改革の取組を着実に進めます。 ・第7次江別市総合計画の実現を図るため、行政評価システムを活用したPDCAサイクルにより、市を取り巻く時代の変化の中で生じる様々な課題を的確に把握し、柔軟に事務事業へ反映することで、まちづくり政策と未来戦略の成果向上を推進します。また、行政評価システムによる内部評価がより適切に運用されるよう、市民、専門家等による外部評価を行います。 ・さっぽろ連携中枢都市圏の枠組みを通して近隣市町村と各種広域連携事業を実施することにより、江別市の魅力や認知度の向上を目指します。						
	9－（２） 透明性と情報発信力の高い市政の推進						
	・市民が、市政に関する情報を容易に入手し理解を深められるよう、広報誌、ホームページ、SNS等によって広報活動を推進すると共に、気軽に市政に対する意見を提案できるよう広聴の充実を図ります。また、広報と広聴の連携を図り、市民の意見が市政に反映されやすい環境の整備を進めます。 ・道内の子育て世代を惹き付けるため、江別市の魅力をアピールするコンテンツの制作や、ラジオ番組での情報発信のほか、まちづくりアドバイザーによるPRの強化等を行います。また、江別シティプロモート推進協議会と協働しながら、食や農、住環境に関するPR活動などに取り組み、江別市の認知度と魅力度の向上を図ります。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	市政運営に満足している市民割合	%	64.8				↗
	市から必要な情報が提供されていると感じる市民割合	%	81.7				↗
	市に意見を伝える機会・場所が充実していると感じる市民割合	%	63.0				↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合		%	－				↗
「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合		%	83.2				↗
「広報えべつ発行等事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合		%	78.8				↗

2 えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」(担当課)
【戦略1】 子どもが主役のまちをつくる	
【戦略2】 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける	③ 多様性を認め合う社会意識の醸成 「生涯活躍のまち推進事業」(政策推進課)
【戦略3】 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる	
【戦略4】 地域から地球温暖化防止に挑む	
【戦略5】 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく	① デジタル技術の活用 「生涯健康プラットフォーム推進事業」(デジタル政策担当)

3 企画政策部の資源

		実 績			予算額	
		—	—	—	令和6年度	令和7年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)				220,806	564,468
	特別会計 (B)				0	0
	合計 (A+B)	0	0	0	220,806	564,468
正職員人件費 (千円)	人工 (a)				38.00	37.00
	平均単価 (b)				7,464	7,904
	人件費 (a×b)	0	0	0	283,632	292,448
総 額		0	0	0	504,438	856,916